

平成31・令和元(2019)年度岡山市公民館運営・事業方針

岡山市立公民館基本方針に基づき、すべての人に開かれ、地域から世界へと開かれた自由な学び合いにより、多様なつながりが生まれ、社会の問題をわたしたちのこととしてとらえ、学びと実践を繰り返しながら未来へと一步一步進み、一人ひとりの人生を豊かに、そして、持続可能な社会づくりに貢献する公民館を目指す。そのために、地域特性を活かした多様な学習機会を提供するとともに、地域の問題や生活課題を捉えた講座の企画・運営を通じて、住民自らが課題の達成に取り組めるよう支援するため、以下のとおり運営・事業方針を定める。

1 公民館が果たすべき役割

「ともに わたしたちが 未来をつくる 開かれた公民館～出会う つながる 学び合う 活躍する～」

誰もが気軽に立ち寄り憩い、出会い、集える場、つながる場、自由に学び合える場をつくり、持続可能な未来の地域の姿を展望した学びと実践をつなげる。そして、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点を取り入れて、みんなの問題を、自分のこと、わたしたちのこととして、ともに未来をつくる活動につなぎ、その活動からの気づきが新たな学びとなり、学びと実践の循環でより良い地域づくりに貢献する。特に「共生のまちづくり」と「地域防災」については、地域の重要課題として中学校区ごとに配置された社会教育施設という特性を活かし、公民館の良さを活かした役割を果たす。また、地域を持続し、活動の持続性を高めるため、「若者・次世代」の参画を意識した取組を進める。

2 重点目標

<各公民館>

(1) 公民館活動への市民参画の促進（開かれた公民館づくり）

- ・市民が企画・実施に参画する講座等の主催事業を増やす。
- ・公民館の運営により多くの住民、各種団体の公民館活動への参画を促進するよう運営委員会の活性化をはかる。
- ・職員や、公民館で力をつけた市民で、各公民館に来られない方を対象に出張講座等を行う。

(2) 地域課題の把握と事業企画への反映

- ・地域ワークショップや、市民相談、関係行きや機関へのヒアリングなどの結果を踏まえた事業の立案を行う。市政の懸案であり地域共通の課題である8つの「重点分野」（後述）に沿って学習機会を提供し、他の分野や課題とつながるような事業に取り組む。その中でも、「地域づくり」「共生」「防災」について事業の充実をはかる。
- ・実施にあたっては、各公民館の地域特性をふまえて重点を絞り込み、目標と重点取組を設定し、設定した目標に特に注力して公民館全体で取り組む。

(3) 子ども若者の参画・次世代への地域活動継承に向けた取組

- ・中学校、高校の生徒が、地域や社会課題にふれ、主体的に参画する事業や、参画の機会を増やす。
- ・大学等の行う地域貢献・地域問題を対象にした実習や、教育・地域づくり等の専門分野の研究と連動した取り組みを進める。
- ・地域協働学校（コミュニティスクール）や地域学校協働活動の取組など、学校と地域社会を結び将来の社会の担い手として子どもたちを育てていく取組に参画する。

(4) 公民館活動の魅力発信

- ・「公民館だより」の魅力を高める。(講座案内で終わらない地域情報の発信。)
- ・「L I F Eおかやま」「E S Dなび」等ホームページ、フェイスブックでの情報発信を増やす。案内だけでなく、事業報告や様々な活動の発信や情報交換を行う。

<公民館振興室>

(5) 基本方針推進に向けた事業推進体制の見直し

①指導班の体制整備

- ・ブロックごとの担当による支援が行えるよう、業務体制の確立をはかる。
- ・基本方針を現状に併せて、新たな取組が進められるよう事業の棚卸しを行う。

②事務事業の改善

- ・業務効率の改善に向け、定型事務の統一、事務マニュアルの見直しをはかる。

③研修

- ・基本方針を実現するため、各公民館で立てた目標の進行管理と自己評価を行う研修を行う。
- ・「開かれた公民館」への意識を高め、そのためのコーディネーター技能を高める研修を行う。
- ・「地域防災」等重点分野に関する研修を実施する。
- ・テーマに応じて、市民や関係課、団体にも開かれた研修を企画する。

④施設利用の促進

- ・公民館の施設の利用を促進し、分館の利用計画の策定を促す。

(6) 公民館間の交流や連携の取組

- ・公民館が連携、またブロックで分担して事業について検討し、できるところから実施する。
- ・公民館大会や他組織と連携した交流機会により、公民館活動を行う職員や市民の直接的な交流機会を設ける。

(7) 基本方針に沿った先導的取組の企画

①大学、NPO、企業等との情報交換の場

- ・地域づくりや教育などに関心を持って活動しているNPOや企業の若者と地域コミュニティの活動とがつながり、新たな取組を生み出す機会をつくる。

②各公民館の共通課題に沿ったワーキングの実施

- ・基本方針の重点分野についての公民館全体の具体的な目標の設定や、基本方針推進のしくみづくりにむけて「地域づくり」「共生のまちづくり」「地域防災」「若者の参画」「広報戦略(ICT含む)」「研修・評価」のワーキンググループを設置する。ワーキングの実施に当たっては関係課・団体の協力関係づくりも意識して取組む。

③公民館の取組の発信

- ・各公民館の実践が広く市民に伝わるよう整理し、マスコミへの計画的な情報発信を行う。

(8) 関係組織との連携協働

①地域情報の共有

共生のまちづくり、生涯学習、地域づくりなどの取組の促進につながる地域の基礎情報の共有(地域カルテ)を保健福祉局、市民協働局などとともに進める。

②災害時の対応の整理

関係課・関係機関と協議し、避難所になった場合の備えや、公民館の施設を活かした被災者支援などの役割を整理する。

③ ESD、SDGs等の取組との連動

SDGsモデル都市に係る保健福祉の取組や、ESD推進協議会のプロジェクト、岡山芸術交流など市の取組と公民館活動の調整、お互いに効果が上がる取組を進める。

(9) 評価指標の設定

- ・ワーキンググループを設置し、各重点分野において各年の取組でどのような変容があったかが具体的に伝えられるわかりやすい目標を設定するとともに、長期的な取組を評価する社会的インパクト評価の手法を研究する。
- ・評価指標は、事業の改善、活動の発展の有無を示すために、数値目標と質的評価を組み合わせつつ、効率的な方法を検討する。
- ・運営委員会や第三者評価で利用可能な評価シートの検討を行う。

3 主催事業における重点分野

< 3 重点分野 >

(1) 地域づくり—地域資源の掘り起し、地域課題の把握による持続可能な地域の姿の共有—

地域資源の掘り起こしや継承、まちづくりへの活用につながる取組を「地元学」の発想を活かして行う。また、地域資源や地域課題の把握などをもとに、持続可能な地域の姿（地域の未来ビジョン）を住民自らが考え、実現するための取組を支援する。

(2) 共生 —共生のまちづくりの推進—

- ・地域共生社会推進計画の具体化に向け、地域に応じた支え合いのしくみをつくるために市民、様々な専門家、関係機関等がともに、地域のニーズを把握、情報を共有し、ボランティア養成講座等学びの場づくり、関係づくりを行う。
- ・保健福祉局と連携し、地域支え合いサポーター養成講座を各ブロックごとに行い、学習と活動をつなげる。
- ・発達障害に関する講座や事業を行う各館と関係団体が連携した取組を進める。
- ・地域でくらす外国人の課題を把握し、公民館の役割を検討する。

(3) 防災・安全安心 —地域の防災力を高める—

- ・地域の防災・減災力を高めるための学びの場をつくり、地域の防災組織の学習の支援、防災士資格を持つ公民館職員と地域の防災士等のボランティアとの連携、自主防災組織との連携などを通じて、地域防災の活動の支援、促進を行う。

< 継続的に行う分野 >

(4) 環境 —環境に関する意識の向上と活動の促進—

- ・身近な自然から地球規模のエネルギー問題まで多彩な学習の機会を提供する。
- ・環境事業課と連携して、食品ロス削減の講座や事業の充実を図る。

(5) 健康 —健康づくりへの支援—

- ・健康市民おかやま21の関係機関と連携した取組を進め、事業生活習慣病予防、心の健康、食事、飲酒・喫煙、介護予防など幅広い観点から健康をとらえ、健康学習の機会を提供する。また、あらゆる世代を対象に、将来を見据えた健康づくりへの意識付けや運動習慣の定着を図る。
(新たな健康ポイント事業との連携検討も含む。)

(6) 男女共同参画 ー男女共同参画の推進 ー

- ・性別に関係なく、一人ひとりの人権が尊重され、互いの生き方を認め合うとともに、多様な考え方が生かされる社会を実現する。女性が輝くまちづくり推進課のさんかくウィーク、さんかくカレッジの事業を活用する。

(7) 子育て ー子育て・家庭教育と青少年健全育成の支援 ー

- ・地域で子どもが育つための切れ目ない支援を進めるため、地域の中での「子ども観」の共有を図り、安心して子育てができる環境を整える。家庭教育にも目を向け、親同士の学びあいを促進するため、気軽な相談場所づくりや居場所づくりに努める。また、子どもが主体となるような様々な体験活動の場を設け、異年齢の子ども同士の交流を図る。

(8) 長寿社会 ー高齢者の仲間づくりと学習の機会の提供 ー

高齢者一人ひとりの生き方や多様性を尊重し、高齢者自らが自主的・主体的に学びや活動に取り組んでいけるよう支援する。高齢者の生きがいや仲間づくりを進める一方、経験豊富な地域人材として、地域活動や学校支援への参加を支援する。

各公民館の公民館目標と重点取組

公民館名	公民館目標	重点取組
操山	地域の誰もが気軽に集える、寄り合い場	中学校と地域をつなぐ行事を行う。
岡南	「講座型公民館」から「地域運営型公民館」へ。講座を企画し文化・教養の殿堂のような単なる教育施設(講座型)から地域住民が主体となって地域づくりを担う拠点(地域運営型)へとイノベートする	地域の歴史や特性を生かし、地域社会を持続可能なものにする為に、地域の方々と共に、具体的にどのように取組めばよいかを考える。地域にはなんとかしたいと熱意を持つ人が必ずいる。公民館はそんな人たちの「掘り起しと出番づくりの場」となる。
岡西	地域住民と職員が共に歩んで得る地域の「学ぶ力・行動する力・明日への力」	・地域住民とともに学び、実践する姿勢を持つ。 視野の拡大、新たな知識の習得を心がける。
北	○つなげよう・ひろげよう ESD活動でますます元気な地域にしていこう ○高めよう自治の力 事業企画は市民主体でもりもりと ○ときめく・きらめく 可能性が開花する協働学習の場をつくろう	講座や活動に市民の声(ニーズ)が反映できる仕組みをつくっていく。
西大寺	地域に生きる公民館、地域を活かす公民館 公民館職員が住民とかかわりを持つことで、公民館が地域とつながり理解してもらう	公民館運営委員会の持ち方を見直し、実効性の高いものに変えたい。
上南	地域の人がつながり共に学び歩む公民館	・地域にゆかりのある人物や資源を知り、郷土の良さを理解できるような事業を行う。 ・中学校と連携したり、中学生ボランティアの主体的な活動を促進したりすることで、若者の地域参加を進める。 ・クラブ講座の活動支援や公民館利用者層の拡大
一宮	学び合い 夢と絆をひろげよう — 明るく笑顔あふれる一宮公民館 —	・市民と共に学び、実際の活動へとつなげる。 ・新たな人とのつながりをつくる。
津高	笑顔をつなぐ公民館	・防災・減災 ・各種団体や個人、活動を「つなぐ」 ・公民館の役割、可能性の周知
高松	郷土を愛し、共に考え、支え合いの意識が高まる公民館	・郷土愛を育てる事業 地域の良さを改めて見つめ直し、それを共有し、発信して広めていく。ロビー展や公民館だよりなどを活用し、地域の魅力を再確認・発信する。
吉備	豊かに生きる	防災・減災の取組 より住みやすく安全な地域をめざし、地域の防災について意見交換・情報交換しながら、地域でどんな備えができるか考えていく。
妹尾	地域みなさんと共に「つなぐ むすぶとどける」	
福田	住み続けたいと思う 安心・安全で 笑顔あふれる 福田学区	幅広い世代がお互いの顔をみながら関わる事が出来る取り組み(子育てひろばわらべ、夏休み子ども講座、サロン、防災講座など)

上道	自主自立	講座生や住民が主体的な活動ができるようになることを目指し、クラブ訪問やクラブ代表者会等の機会に公民館の意義や役割を伝える。
興除	集い、繋がり、人々が輝く公民館	公民館活動を通じて、様々な人が出会い共に学習することによって、それぞれの学びが社会に還元されるよう支援する。
足守	地域に根差した公民館	①防災・減災について…地域住民による企画・運営グループ（防災会議）とともに啓発、研究に取り組む ②生活支援について…生活支援サポーター養成講座の開催と活動グループのたちあげ ③出前講座の取り組み
藤田	地域から愛され、地域と共に 65 年間歩んできた。本年度も地域の期待に応え、温かみのある場所づくり、満足してもらえる講座づくり、役立つ情報発信に努める。⇒「楽しさ、見つかる公民館」	・藤田のよさ（人々、文化、環境）に気づき持続発展させる行動 ・笑顔、あいさつ、温かい対応 ・一人のために全職員の協力、公民館のために貢献する職員
大元	「オール桑田」を合言葉に、 ・未来に向かって「自ら行動する人」を創出しよう ・「視野が広がるつながり」をコーディネートしよう	・「桑田もつともつと会」のスタッフ育成 ・「プラットフォーム桑田」での情報共有と学び合い ・発達障がい児親の会の大元－鹿田連携による地域及び社会啓蒙活動 ・「フードドライブ」と「夜の公民館」をリンクさせて団らんの場を開き、昼間には見られない人が寄り合って新たな社会的価値を思考する自由度の高い空間を創出する。
東	「人が集まりやすい、利用しやすい公民館」 年々進む高齢化により、高齢者のみの世帯も増加し、高齢者の孤独・孤立も増えてきている中で高齢者を支える地域づくりをより一層進めていく必要がある。また、夫婦共働き世帯やひとり親家庭に伴う子どもの見守りなど子育てがしやすい環境づくり、障害がある人も外国人も生活しやすく地域に溶け込める地域づくりが必要になっている。そういった、全ての地域住民が安心して充実した人生が送れるよう、持続可能性(SD)をキーワードとして福祉・教育・防災・防犯・ICT などあらゆる分野からの取り組みを継続・発展させるとともに、横のつながりも強化しながら目指すべき未来像に向けて取り組むことができる地域に到達することが目標である。 公民館には社会教育施設という特性を生かし、公民館での出会い、学習、つながりをもとに、地域の未来のために何ができるのかを考え、実践へと活動を発展させて、地域で活躍する人を増やしていくことが期待されている。そこで、公民館活動の原点である「集い、学び、仲間づくり」を公民館運営の中心に据え、すべての人に開かれ、だれもが気軽に立ち寄り活動できる「人が集まりやすい、利用しやすい公民館」づくりを目指していく。	・出会いの場の創出と充実 ・公民館ボランティアの育成と活動支援 ・情報発信の強化

南	あらゆる世代が安心して生活できる街づくり	健康で生きがいをもって活躍できる人づくり 人と人が繋がる安全で安心な地域づくり 若い世代が活躍できる地域、親しみや愛着ももてる地域づくり 安心な地域づくり
旭東	(少子高齢化がいつそう進むなか) 助け合い・支え合い、安全で心豊かに 住み続けたい地域	
操南	信頼される公民館(集い、学び、協働する)	1. 自主防災会と協働して操南学区の防災力アップに取り組む。 2. 中学生や大学生など若い力を導入して、夏休みこども講座を実践行動的な講座へと再構築する。 3. 主催講座にワークショップ型、プロジェクト型の講座をとり入れ、実践に向かう学びを志向する。
山南	「あいさつ」がつなぐ山南公民館 ～出会う つながる 学びあう 活躍する～	・職員が積極的に公民館利用者や地域住民とのコミュニケーションを図り、気軽に話せる関係づくりや、気軽に公民館に足を運べる雰囲気を作る。 ・地域住民同士や諸団体などをつなぐコーディネーターとしての機能を充実させる。
福浜	世代を越え 集い、仲間と学ぶ 福浜公民館	①運営委員会を活性化させるために、委員構成や内容等について協議を始める ②ロビーを活用した学習機会の提供を増やす ③出前講座を継続する
富山	地域をつくり、未来を拓く公民館 ～世代を超えてつながり、生きがいと住みよい地域づくりをめざして～	個人が気軽に集まり、学び、つながることで生きがいを見いだしていくことを支援する。世代を超えて地域の団体や地域住民が地域の未来ビジョンを描き、住みよい地域をつくっていくための学びの場づくりや、つながりをつくっていく。
芳田	出合い、ふれあい、学び合い、次世代につなげる町づくり	子どもから高齢者まで元気でこころ豊かに暮らせる町づくり。 異世代交流を通し、子どもたちが地域で愛され、地域の良さが実感できる地域づくり。
高島	新たな人を巻き込み、新たな高島公民館活動を作る	テーマ「居場所作り」 小学校で行われていた「算数教室」が終了したことを機に、子どもの居場所作りを求める声が上がった。その「居場所」を誰がどう作っていくか、地域の未来を考える「場」をつくり、現在の利用者と、新たな利用者を巻き込み、多くの人やグループをつなげていく。 そして、できた「居場所」が、関わった人たちの「居場所」にもなり、地域に貢献する人材が育成される好循環を生み出したい。
京山	(E) えーものを (S) 子孫の (D) 代まで	次世代のリーダーを養成していく
光南台	・みんなが集い、みんなにつながり、みんなで見聞を出し合って、安心して暮らせる地域づくりに貢献しよう。 ・みんなが集い、みんなですぽーつや食事会を楽しもう。	・住民の声を拾う、住民の参画 ・中学生の参加から参画へ ・多世代交流の推進

御南西	「美しい環境」・「にこやかな笑顔」で集い合う御南西公民館	地域の中で住民が相互につながりを持ちながら、社会的弱者の方々を支え合い、誰もが安心して暮らせる共助の暮らしが見られる地域づくりをめざし、共生のまちづくりの中核として、障害者の住みよいまちづくりに向け、障害者疑似体験及びひらた旭川荘・岡山西支援学校と連携を取りながら進めています。そして「地域ワークショップ」の総括として、発達障害者への関わりについて話し合いを持ちます。
旭	自分の頭で考え、知のバランスをとり、皆で一緒に考えましょう。 昨日よりも今日、前よりもより良くなりましょう。	公民館活動に参画・参加する人たちが多くの雑多な情報に惑わされることなく正確な情報や知識を自発的に求め考え、心身ともに充実して過ごすことができるように、地域住民・関係機関の人たちと双方向的に学びを深め、肯定的なエネルギーを最大限に得ることができるよう支援する。
東山	地域の“つながり”つくる公民館 ～子育て世代の利用・活用を広げよう～	<ul style="list-style-type: none"> ・読書フェスや食育など、幼児から親子で参加できたり学んだりする取組。 ・託児ボランティア養成講座を実施し、子育て世代が参加しやすい体制を整える。
岡輝	地域・人をつないで結ぶ公民館	岡輝学区の防災・減災力の向上を進める学びの場と地域のリーダー養成を目的とした事業展開
御津	御津の良さを誰もが実感し、未来に誇れるふるさとづくりを推進できる公民館	みらいへ つなげる 公民館
灘崎	一に灘っ子育て、二に安全安心 二つそろって住みよい住みたい共生のまちづくりの基地となれ	「チーム灘」の自立化を促進し、若者参画をさらに進展、防災をキーワードに町内会・学校園との連携を深め、地域づくりをさらに進化させる。
建部町	住民自身が地域に誇りを持ち、移住者も含めた地域住民全体で、積極的かつ前向きに まちづくりに関わる地域を目指したい。	「地域づくりのための人づくり」
瀬戸	「つどう まなぶ つながる」から「活躍する」へ ～公民館から地域や地域の人へ向けた活動を～	市民団体や市民等が参画した「各種講座」の実施、市民等が中心となった「公民館カフェ」の実施を推進していく。
万富	<ul style="list-style-type: none"> ・ESD、SDGsの視点から地域の課題解決に向けた取り組みを行う。 ・支え合いの仕組みをつくるため、学びの場づくり、関係づくりを行う。 ・想定外の災害においても速やかに対応できる力を身につけるための学びの場を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸町の自然（特別天然記念物のアユモドキやその他の豊かで貴重な自然）に暮らす様々な生き物に親しむ体験学習から地域の身近な自然環境の保全活動につながるような学び（ESDの視点）を提供していきたい。